人 事 考 課 表

評定期間: 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日

(被評定者)

氏 名	男 · 女 歳
派遣先部署名	

(評 定 者)

1 次	(氏名)			印
評 定 者	評定日	年	月	日

◇人事考課評定結果

	파카 국논	- AL: -	ட ≐க	<u>بـــــ</u>			* ~	# * L	<u>ب</u> ج	<i>_</i>	1
	職務	能	力評	定			意欲	· 勤	怠 評	定	
評定	要素	a	b	С	d	評定要	要素	a	b	С	d
段取り手順	頁の確実さ	8	6	4	2	理解判	断 力	8	6	4	2
仕事の) 速 さ	8	6	4	2	技 能	力	10	7.5	5	2.5
仕事の	正確さ	8	6	4	2	責 任	感	10	7.5	5	2.5
ロス 0.) 防止	4	3	2	1	積 極	性	8	6	4	2
職場の鏨	と 理整頓	6	4. 5	3	1.5	規律	性	10	7.5	5	2. 5
トラフ゛ル	の処理	4	3	2	1	出勤	状 況	8	6	4	2
報告・	連絡	6	4. 5	3	1.5	勤務	状 況	8	6	4	2
同僚との	協力関係	4	3	2	1	服 務	規律	8	6	4	2
職務	知 識	10	7. 5	5	2.5	報告・	届出	8	6	4	2
点	数			•	点	点	数				点
合言	合 計 点										
	S	А	В	С	D						
評定。	126	102	70	45	34	最終評定	S	A	В	С	D
F1 /	136	125	101	69	44	1,000,000,000			_	_	_

(注) この最終評定が、昇給、昇格の評定になる。

株式会社アンフィニー

	評定要素	評 定 基 準	評定
	段取り手順の確実さ	a 納期を急ぐものについて、段取りを重点的に手早く行い、マニュアルや指示に確実に従っていた。 b 段取りは早く、作業手順の間違いはほとんどなかった。 c 段取りにやや時間がかかり、作業手順の間違いもときたまあった。 d 段取りに時間がかかり、手順もまずかった。	1 次 評 定 調 整
	仕事の速さ	a 仕事のピッチは早く、納期を急ぐ場合には、この従業員にかぎった。 b 大体人並みの早さで、業務に支障がない程度であった。 c ややスローのところがあり、急を要する場合は、任せられないことがあった。 d 仕事のピッチが遅く、業務に支障をきたすこともあり、あてにすることはできなかった。	1 次 評 定 調 整
	仕事の正確さ	a 仕事は綿密かつ几帳面に処理し、ミスもなく信頼できた。 b 仕事の処理は確実で、ほとんどミスがなかった。 c 注意深さにやや欠けていて、ときどきミスがあった。 d 仕事が粗雑で、ミスや事故が目についた。	1 次 評 定 調 整
	ロスの防止等	a ロス (材料や時間) の防止、不良率の低減、安全性の向上について工夫や努力を行い、期待以上の効果をあげた。 b ロスの防止、不良率の低減、安全性の向上などに努め、大体期待どおりの効果をあげた。 c コストについての関心がやや薄く、ロスの防止、不良の低減をはかる余地を残していた。 d コストについて無関心で、ロスや不良の発生について、対策を打っていなかった。	1 次評定調整
職	職場の整理整頓	a 作業場は、常にきれいに整頓されており、他の者の模範となった。 b 指示されたとおりに整理されており、問題はなかった。 c 整理整頓がやや悪く、注意することがあった。 d 乱雑なところがあり、業務にも支障をきたした。	1 次 評 定 調 整
務能力	トラブルの 処理	a トラブルに対しては、自主的にその解決にあたり、必要に応じて上司の指示や援助も得て、関係者が納得のいく形で解決できた。 b トラブルに対しては、上司の指示や援助も得つつ、一応適切に解決し、あとを引くことはなかった。 c やや一方的な解決をしたり、原因を十分つかんでいなかったために、あとを引く場合があった。 d 解決が一方的、その場かぎりのところがあり、あとまで問題が残った。	1 次評定 調整
評定	報告・連絡	a 報告すべきタイミングは申し分なく、内容も的確で、必要に応じ自己の考え方を加えて報告していた。 b 報告の時期、内容とも、ほとんど問題や間違いはなかった。 c 報告の時期が遅れたり、内容が的確でないことが、ときどきあった。 d 報告が十分でなく、上司とのコミュニケーションにも欠けていた。	1 次 評 定 調 整
	同僚との協力関係	a 自らすすんで同僚の仕事を助け、他からも協力を得ることができ、効率よく仕事を 処理することができた。 b 上司の指示があれば、誰とでも協力して仕事を処理することができた。 c 相手によって、協力する場合と、協力をしぶる場合とがあり、仕事を処理する上で 支障を生じることがあった。 d 自己本位のところがあり、同僚らと協力的に仕事をすすめることが苦手であった。	1 次 評 定 調 整
	職務知識	a 担当職務に関する実務知識は十分持っており、業務上まったく問題がない。 b 担当職務に関する実務知識は必要な程度は持っており、業務上問題はない。 c 担当職務に関する実務知識にやや欠けるところがあり、業務に支障をきたすことが、たまにある。	1 次 評 定 調 整
	理解判断力	d 担当職務に関する実務知識が不十分で、しばしば業務に支障をきたすことがある。 a 通常やっていない、やや複雑な問題でも、早く的確に理解することができる。突発的な事態に対しても、適切な処置ができる。 b 与えられた仕事や指示命令を、大体趣旨にそって理解できる。少し複雑な問題についても、正しい処置ができる。 c 上司の指示命令の理解が遅かったり、早のみこみをし、ときどき修正を要することがある。少し複雑な問題については、正しい判断ができない。 d 簡単な指示命令でも、すぐに理解できず、よく説明しないとのみこめない。通常の業務の判断・処置にも適切さを欠くことがある。	1 次評定
	技 能 力	a 技能は、一人前の水準を上まわっており、未熟者に対して、ある程度の指導ができる。	1 次評定調整

	評定要素	評定要素 評 定 基 準			
意	責 任 感	a 相当に困難な状況に直面しても最善の努力をつくして自己の任務を遂行し、責任を 回避することはなかった。 b やや困難な状況に直面しても責任を回避したり、途中で挫折することはなく、自己 の任務を遂行した。 c おおむね自己の任務を遂行したが、困難に直面すると責任を回避したり、挫折する こともあった。 d 陰日向があり、責任を他に転嫁することがあった。	1次評定調整		
欲評	積 極 性	a 自らすすんで仕事に取り組み、どんな仕事もいやがらず、担当範囲内での仕事の拡大にも大変意欲的であった。 b 指示されたことには熱心に取り組み、担当範囲内での仕事の拡大意欲もあった。 c 自己の担当範囲内についての仕事の拡大意欲は一応あった。 d 自己の担当範囲内についての仕事の拡大意欲は見られなかった。	1次評定調整		
定	規 律 性	a 規則や上司の指示命令を自ら守るとともに、他の模範となり、職場の規律維持に努めていた。 b 規則や上司の指示命令は一応よく守っていた。 c 規則や上司の指示命令を時々守らないこともあった。 d 規則や上司の指示命令に反する行為がみられ、注意しても、くりかえすことがあった。	1次評定調整		
勤怠	出 勤 状 況	a 就業日はすべて出勤し、無遅刻・無早退・無欠勤であった。但し、適正期日に申請された計画的な年次有給休暇を取得した場合を除く。 b 年次有給休暇・欠勤・遅刻・早退する場合は、事前に派遣先及び派遣元に連絡していた。 c 無断欠勤や遅刻早退することがあった。	1次評定		
	勤務状況	d 無断欠勤や遅刻早退することがしばしばあった。 a 始業時刻、休憩時間及び終業時刻を守り、他の模範となっていた。 b 始業時刻、休憩時間及び終業時刻を守っていた。 c 遅刻は無かったが、始業時刻間際に出社、または休憩時間を超えて休憩、後片付けをせずに終業することがあった。 d 遅刻は無かったが、始業時刻間際に出社、または休憩時間を超えて休憩、後片付けをせずに終業することがしばしばあった。	調整 1次 評定 調整		
評定	服務規律	a 派遣従業員就業規則に定める服務規律及び派遣先の就業規律を遵守し、他の模範となっていた。 b 派遣従業員就業規則に定める服務規律及び派遣先の就業規律を遵守していた。 c 派遣従業員就業規則に定める服務規律及び派遣先の就業規律に違反があった。 d 派遣従業員就業規則に定める服務規律及び派遣先の就業規律に違反がしばしばあった。	1次評定 調整		
	報告・届出	a 会社への定期的な報告や必要な届出を適正期日に行い、他のスタッフにも声掛けするなど他の模範となっていた。 b 会社への定期的な報告や必要な届出を適正期日に行っていた。 c 会社から催促したうえで、会社への定期的な報告や必要な届出を行っていた。 d 会社から催促しても、会社への定期的な報告や必要な届出をしていないことがあった。	1次評定調整		

	л	メ	ン	٢		
評						
定						
定者						